

市場創造と技術革新

～農業分野におけるICT活用最前線～

—参加のお勧め—

近年、スマートフォンやタブレット端末の普及や、データ収集が可能なセンサーの小型化・低価格化の進展により、大量のデータが生成されています。これらの大量のデータを最新のICTを駆使し収集・蓄積・分析することにより、『新たな価値』を導き出し、それを活用する取組みが、様々な分野で始まっています。

中でも、農業は自然が相手であり、長年の経験や勘がものを言う世界で、ICTや情報化からは遠い存在のように思われていましたが、この農業がいまICTの力で大きく変わろうとしています。たとえば、気温や日射量、土中の温度・水分など農地の状態から農作業の状況までをカメラやセンサーからデータを収集し、それをコンピュータで蓄積・分析することで、長年の経験や勘の見える化を実現し、最適な肥料の時期や量を調整したり、収穫期を決定するなど、生産性の向上、コスト削減にもつながる『効率的な経営』が始まっています。

そこで、今回のシンポジウムでは、第1部にて「農業分野を中心としたソーシャルクラウドへの取り組み」と題して、農業を中心としたICT（ソーシャルクラウド）活用の基本的な説明から最先端の動向について、富士通株式会社 若林 毅 様にご講演いただきます。

第2部では、「スマートガーデナー（農業ICTサービス）の開発と応用事例」と題して、広島県廿日市にある広島バラ園様にてICT活用の実証実験を行っている（株）オネスト 曾根 廣尚 様より、ICT導入の経緯や導入後の効果など、実際の現場における実情を中心にご講演いただきます。なお、この広島バラ園様での取り組みは、農林水産省の官民連携新技術研究開発事業の一環で、明日の農業を切り拓く先進的なプロジェクトとしても注目を集めています。

第3部では、参加された皆様方に講演内容を更にご理解頂くために、広島工業大学の長坂康史教授にコーディネートいただき、皆様方からの質問にお答えする形で「パネル討議」を予定しています。

本シンポジウムが、ICT活用による経営革新の課題解決や市場の創造に些かでもお役立て頂ければ幸いです。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

用語説明 ICT：Information and Communication Technology の略で、情報通信技術の意味。
ソーシャルクラウド：農業、医療、福祉、交通、教育、エネルギーなどの社会インフラ分野が抱える様々な課題を解決するためのクラウドをはじめとしたICTの活用。

日 時：2013年9月4日(水) 13:30～17:00

会 場：広島商工会議所ビル 1階 101会議室

広島市中区基町5-44 TEL (082) 222-6610 (代表)

主 催：中国地区品質経営協会

■プログラム

時 間	内 容
13:30~13:35	開会挨拶 中国地区品質経営協会
13:35~14:35	講 演 ① 「農業分野を中心としたソーシャルクラウドへの取り組み」 富士通株式会社 イノベーションビジネス推進本部 SVP 若林 毅 氏
14:35~14:45	— 休憩（10分） —
14:45~15:45	講 演 ② 「スマートガーデナー（農業 ICT サービス）の開発と応用事例」 株式会社オネスト 事業企画部 フェロー 曾根 廣尚 氏
15:45~15:55	— 休憩（10分） —
15:55~16:55	パネル討論 コーディネーター 広島工業大学 情報学部 教授 長坂 康史 氏
16:55~17:00	閉会挨拶 中国地区品質経営協会

■講師紹介

【講演①】「農業分野を中心としたソーシャルクラウドへの取り組み」

- ・スマートデバイス / ワークスタイル変革 / ソリューション活用事例

□若林 毅 氏 富士通株式会社イノベーションビジネス推進本部SVP

[略 歴]

- ・1983年：富士通（株）に入社。金融業界を担当する営業、ビジネス企画、ソリューション企画を担当。
- ・2007年：社長直下のプラットフォーム戦略プロジェクトに参画した後、ソリューションビジネス改革推進や、クラウドビジネスの戦略企画を担当。
- ・2011年：10月よりソーシャルクラウドの事業開発を担当。

【講演②】「スマートガーデナー（農業 ICT サービス）の開発と応用事例」

- ・ビッグデータ / ビジネスインテリジェンス / ビジネスアナリティクス

□曾根 廣尚 氏 株式会社オネスト 事業企画部 フェロー

[略 歴]

- ・1982年：日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 研究員
ThinkPad 関連技術、通信技術の研究・開発に従事
- ・2009年：株式会社オネスト 事業企画部 フェロー
農業 ICT サービスの企画、開発、事業化に従事

■コーディネーター紹介

□長坂 康史 氏 広島工業大学情報学部教授

[略 歴]

- ・1997年：長崎総合科学大学 工学部助手
- ・1999年：長崎総合科学大学 工学部助教授
- ・2001年：広島工業大学 工学部助教授
- ・2008年：広島工業大学 情報学部教授
大学院工学系研究科教授

[主な役職]

- ・日本情報経営学会関西支部運営委員
- ・所属学会(日本品質管理学会、日本情報経営学会、経営情報学会、電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE「米国電子電気学会」、日本物理学会)

■会場案内



広島商工会議所 101会議室

広島市中区基町 5-44

Tel (082) 222-6610(代表)

- ・ JR 広島駅から電車又はバス
約 20 分
- ・ バス停: 市民球場前
- ・ 電停: 広島電鉄 原爆ドーム前

■参加要領

【定 員】100名

【参加費】会員会社 無料 (非会員会社 3,000円/一人)

【申込締切日】2013年8月27日(火)

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAXまたはEメールでお願いします。

シンポジウム「市場創造と技術革新」参加申込書

お申込先： 中国地区品質経営協会行

TEL (082) 532-6844

FAX (082) 532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号 (世良ビル404号)

E-Mail qmac@a1.mbn.or.jp

URL http://qmac.jp

会社名		お申込責任者：	
		TEL：	
		Eメール：	
住所(〒)			
参加者名		所属・役職	
参加者 (計 名)		受付確認連絡 必要 ・ 不要	
参加費 (計 円)		請求書発行 必要 ・ 不要	

*ご記入頂いた企業・組織及び個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。